

〇「峰山町内の集落と多面的機能事業の関係」

(京都府京丹後市峰山地区連絡会議)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

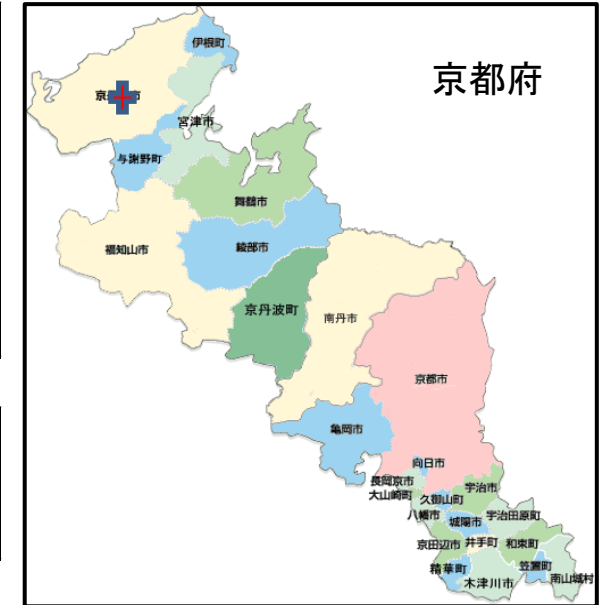
遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年7月4日 午後5時～午後6時
- 場 所: 市役所大宮庁舎第4会議室
- 出席者: 委員7人(欠席1委員)、委員以外一人
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 地理的条件: 中山間地域で大きくは竹野川流域と鱒留川流域に別れた水田地帯で商業エリアと里山エリアに区分される。
- 農用地の特徴: 稲作主流の水田地帯、里山開発の畑地帯もあり
- 農業経営の状況: 水稲主流農家は小規模ながら機械装備があり自己完結型がほとんど。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 話し合い活動を集落で進める窓口が多面的機能事業の役員が位置づけられており新体制が決定しないと動けない
- 多面的機能事業を集落で把握しているところや意識の乖離しているところもある
- 峰山町域の特徴として、農事関係を集落運営の一部として捉えられているので集落役員が京力農場プランについて認識しないと進めにくい
- 営農グループで府補助事業による支援を検討をしている
- 次回以降に町内の集落毎の現状や課題を話し合える資料の提示
-
-

4 活動結果

- 情報・意見交換 1 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援